

夢が広がる、多様なテーマ。 学びのパノラマ・マップ

Panorama of Our Learning

15学科で幅広い学びを提供するほか、
全学部共通の基礎科目や世界・地域に飛び出す独自プログラムも充実。
俯瞰図で、気になるキーワードを探してみよう。

人文学部

-  天理教と世界の宗教を学ぶ
宗教学科 — P26
[入学定員] 20名
-  日本文学・日本語を極める
国文学国語学科 — P28
[入学定員] 40名
-  「過去」からつながる今を知る
歴史文化学科 — P30
[入学定員] 50名
-  心理学を学び、深める
心理学科 — P32
[入学定員] 40名
-  多様な学びを支援する人に
社会教育学科 — P34
[入学定員] 40名
-  福祉を専門的に学ぶ
社会福祉学科 — P36
[入学定員] 50名

医療学部

-  ケアのプロをめざす
看護学科 — P52
[入学定員] 70名
-  臨床検査のスペシャリストに
臨床検査学科 — P54
[入学定員] 30名

国際学部

-  韓国・朝鮮語を学び、深める
韓国・朝鮮語学科 — P38
[入学定員] 40名
-  ニーズの高まる中国語を習得
中国語学科 — P40
[入学定員] 40名
-  国際社会に必須の英語を極める
英米語学科 — P42
[入学定員] 60名
-  7言語で国際社会に貢献する
外国語学科 — P44
[入学定員] 60名
-  多文化共生社会を支える人に
国際文化学科 — P46
[入学定員] 50名
-  日本語・日本文化を学ぶ
日本学科 (留学生対象) — P48
[入学定員] 40名

体育学部

体育学科

[入学定員] 240名

-  競技力向上を追求
競技スポーツコース — P49
-  優れた指導者に
スポーツ教育コース — P50
-  スポーツで交流を生む
スポーツ文化コース — P50
-  健やかな暮らしに貢献
健康スポーツコース — P50
-  伝統文化の担い手に
武道コース — P50

※各学科ページの「学びを未来に活かす履修モデル・資格モデル」では、
モデル名を以下のように分類しています。

- ・履修モデル：特定のキャリアをめざすために推奨されるカリキュラム・モデル
- ・資格モデル：資格を取るためのカリキュラム・モデル
- ・プログラム：天理大学が認定証を発行するプログラム

体育学部 体育学科

Department of
Physical Education

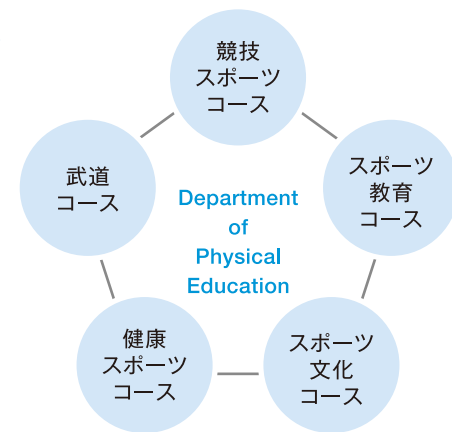
体育・スポーツの 価値を理解し、伝える

学科の構成

体育・スポーツには競技やアスリートだけではなく教育や健康の領域もかかわっています。さらに、本学部では、表現活動やスポーツビジネスなどの領域にも注目。興味関心に合わせて、3年次より5つのコースから選択してさらに学びを深めます。

めざす将来像

小学校・中学校・高等学校教員、プロスポーツ選手、
実業団所属スポーツ選手、スポーツトレーナー、公務員、
一般企業勤務 など



各コースの学びのポイント

スポーツの担い手として心身を鍛え、人々のウェルビーイングを促進させられる人材となることをめざす。

競技スポーツコース

「めざす」

競技力の向上を追求する

五輪代表やプロ選手などを多数輩出した伝統を受け継ぎ、優れたプレーヤーを育成。一流選手を育てたノウハウやスポーツ科学にもとづくトレーニング法、栄養や身体のケアに関する知識を自らの競技に活かしながら、指導者に必要な力も磨きます。

健康スポーツコース

「ささえる」

健やかな暮らしに貢献する

身体理論や栄養学、医学、トレーニング理論、身体のケア、健康政策などを幅広く学び、ひとの健康を支える力を養います。健康に重要な栄養・運動・休養の3本柱を学ぶ科目で、現代人の健康づくりに必要な知識と実践力を身につけます。

スポーツ教育コース

「はぐくむ」

優れた指導者をめざす

これまで多数の保健体育科教員を輩出してきた実績のもと、豊富な実践教育を含む独自のカリキュラムが充実。保健体育科に必要な7領域の体育実技種目をはじめ、「スポーツ教育学」や「野外教育論」などを幅広く学習することができます。

武道コース

「きわめる」

伝統文化の担い手をめざす

武道は、日本が世界に誇る伝統文化です。本コースでは、武道の精神を深く理解し、国際交流に貢献できるひとをめざします。五輪代表選手として活躍した教員が在籍しており、勝負の本質や切れ味のある技を直接学ぶことができます。

スポーツ文化コース

「つくる」

スポーツで交流を生み出す

スポーツを通して社会に貢献する可能性を探り、スポーツを文化として捉えることで、その楽しみ方や感動を創造する力を育みます。ダンスやレクリエーション活動にかかわる科目が充実しているほか、スポーツビジネスについても学びます。

4年間の学びの流れ

1年次 基礎的な知識を身につける

各講義科目や陸上競技、器械運動、水泳などの実技授業から体育・スポーツの専門家としての基礎的知識や能力を身につけます。

2年次 知識を深め 実践能力を伸ばす

1年次に学んだ知識をさらに深め、実技科目を通じて実践経験を積みます。また指導者に相応しい基礎能力も身につけます。

3年次 各コースで、 さらに知識を深める

5つのコースに分かれて各分野の知識をさらに深め、各分野の体育・スポーツの専門家となるように自らを磨きます。

4年次 実技指導・実践能力を高め、 卒業研究に取り組む

【卒業研究の例】

- ・高校球児の野球グラブ購入時のブランドロイヤリティに関する研究
- ・走高跳における踏切動作がパフォーマンスに与える影響について
- ・体育の教師はなぜ保健の授業が苦手なのか？
- ・剣道の国際化に関する一考察 —アメリカ・ロサンゼルスを中心に—
- ・キャプテンのメンタルヘルスとリーダーシップ行動の関連性

代表的な授業

1年次 天理スポーツ学

天理特有の精神的風土によって醸成された「天理スポーツ」。これまで天理で行われてきた代表的な武道やスポーツの歴史や理念を理解し、武道やスポーツを志す者として必要な知識や態度を身につけます。



2年次 スポーツ文化論

「スポーツ」の価値は時代によって異なります。スポーツが文化として営まれ始めた先史時代から現代に至るまでの意味づけや社会背景、思想、価値観の変遷について学びます。



3年次 体育学演習

自分の興味関心で選んだ各コースのゼミに所属し、各専門分野の深い知識を身につけます。自ら課題を探究してテーマを見つけ、その課題を解決する能力を身につけるなどの学習に取り組みます。



Student Voice

体育学部 体育学科
スポーツ教育コース 3年次生
寺本 葵さん

兵庫/滝川第二高校 卒業



Q. 現在の学科を選んだ理由は？

昔から保健体育の教員をめざしているため。

Q. 熱中している学びは？

「学校教育特論」。教員として知っておくべき内容が網羅されている。

Q. どんな点がおもしろい？

なるほど!と思えることが多く、新しい知識が学べる点。

Q. 卒業後の目標は？

運動の得意不得意にかかわらず全員が満足できる授業をめざしたい。

※学生の所属学部・学科等の名称は2025年3月時点のものです。

就職実績

就職率 100%

※2024年3月卒業生実績

主な就職先(直近5年)

フジタ、井村屋、東レ、ユニチカ、ドリームベッド、サイエンス、日本新薬、コーセー、セメダイン、共和、住友電気工業、リコー、マキタ、グローリー、東芝、豊田自動織機、アドヴィックス、白寿生化学研究所、日本テクノ、西武ガス、産業経済新聞社、NTTDコモ、西日本旅客鉄道(JR西日本)、東海旅客鉄道(JR東海)、近畿日本鉄道、丸紅、モンベル、南都銀行、徳島銀行、東濃信用金庫、岩井コスモ証券、タカミヤ、JTB、アイ・케이・ケイ、プロスポーツ選手、教員(奈良県他全国、私学)、総合警備保障、法務省矯正局(刑務官)、防衛省自衛隊、警察(警視庁他全国)、消防(奈良県広域他全国)、三重県庁 他 (順不同)